

【テーマ設定型寄附】

—全 18 事業—

寄附者様がテーマを設定した趣旨

株式会社伊藤園 様 テーマ：奈良県内の自然・環境・文化財の保全・活用事業

奈良県は、世界に誇る多くの歴史文化遺産と、それらと一体をなす歴史的風土豊かな自然環境に恵まれた地であり、その美しい景観を守り育てていかなければなりません。伊藤園では、そのために県民・事業者・行政の適切な役割分担と協働を行い、地域を活性化し、豊かな生活を引き継いでいく為に支援キャンペーンを行います。奈良県で本キャンペーンについて広く周知し、奈良県内の自然・環境・文化財の保全や活用、およびこの事業に伴う地域活性化への貢献についての認知・理解促進に取り組み、支援への賛同を募ります。



▲R5年10月 寄附受領式

大和信用金庫 様 テーマ：大和川水系の水環境改善活動

奈良県民の憩いの場であるべき大和川は、全国1級河川ランキングワーストを脱却し、水質の改善が進んでいます。大和信用金庫は、地域社会とともに歩む地域の金融機関として、大和川のBOD（生物化学的酸素要求量）値の改善度合いに応じて金利を上乗せする「大和川定期預金」の取扱いなど、水質改善に向けた幅広い活動を行っています。

今回、大和川水系の水環境改善に取り組む団体の活動を支援することで、さらなる環境改善に役立てていただきたいと思います。



▲R6年1月 寄附受領式

イオングループ 様 テーマ：奈良の文化遺産やまちなみの保全事業 (イオンリテール株式会社様、マックスバリュ西日本株式会社様、株式会社ダイエー様)

私たちイオングループは、「お客様を原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という基本理念のもと、様々な環境・社会貢献活動に取り組んでいます。奈良県には、文化遺産をはじめ、近世の面影を残す歴史的なまちなみを有する地区も数多く存在します。

今回、「古都ならWAON」カードの利用金額の一部を寄附し、奈良の文化遺産やまちなみの保全活動、及びそれらを活用した地域の活性化活動を支援することで、「古都なら」の保全・活性化に役立てていただきたいと思います。



▲R5年7月 寄附受領式

奈良県青少年育成ボランティア協会 様 テーマ：地域の子ども・若者の健全育成事業

地域のグループや団体等による、子どもや若者を対象とした活動や子どもと大人が一緒になって取り組む活動、あるいは青少年による地域貢献活動などで、地域で子どもを育てる力の向上や青少年の健全育成に繋がる取り組みに役立てていただきたいと思います。

※寄附受領日は平成29年4月19日。解散に伴う寄附。

ホタルや水生昆虫が棲む環境の維持と景観保全

特定非営利活動法人 山野草の里づくりの会

実施目的

大和川源流地域において、小川、水路、池の泥上げほか保全活動、無農薬の米作りを行い、生き物の棲む自然環境の保全活動に努める。
また、地域の道路清掃、クロガリ（山の斜面）整備、赤い花のソバの栽培等を行い、里山の環境保全に努める。

実施内容

- ・水辺の環境整備（ビオトープの泥上げ、小川、水路掃除ほか）
- ・里山の景観保全のための三谷集落の道路掃除、クロガリの草刈り等
- ・米作り、田の畔の水漏れの補修
- ・小川の浸食箇所の護岸、陥没箇所の道普請

<期間>

2023年7月1日～2024年3月11日

<場所>

桜井市大字三谷とその周辺地域

<対象>

会員、活動の参加者

<スケジュール>

2023年

7月15日～2024年2月17日 ビオトープ活動

8月5日～8月30日 耕耘（こうん）作業、赤い花のソバの種蒔き

9月6日 田の水抜き、草刈りほか

9月23日～10月7日 稲刈り、稲架（はさ）掛け・天日干し

10月18日～10月28日 脱穀等

11月8日 クロガリ整備

12月13日 道普請ほか

2024年2月24日 畔波板の設置ほか

事業総額：
432,290円

補助金額：
300,000円

団体名：

特定非営利活動法人
山野草の里づくりの会

所在地：

桜井市大字三谷528

代表者：

理事長 村上 秀夫

設立の目的：

大和川本流源流地域における自然保護及びまちづくりに関する事業、及び日本原産の山野草の種の保全を目指して、環境保全及び環境を生かしたまちづくりに寄与することを目的とする。

事業の様子



実施効果

大和川源流地域において、ビオトープ池の泥上げ、小川、水路掃除等の保全活動を実施し、また、農薬を使わない米作りを行うことで水質浄化に努めた。今回の活動で、ホタルほか水生生物を始め、多様な生き物の棲む環境の保全にさらに繋がった。地域の道路の清掃にも計画的に取り組み、三谷集落との交流を深めた。クロガリ整備、赤い花のソバの栽培等にも取り組み、里山の美しい景観を保全することができた。

寄附者からの声

弊庫寄付金をほたるの生育環境の保全活動や水辺の環境整備活動に活用頂き有難うございます。今後も大和川源流に位置する三谷「山野草の里」の自然環境を守っていかれる活動に期待しております。

里山林の整備作業（間伐作業・下草刈り）

特定非営利活動法人 山野草の里づくりの会

実施目的

三谷集落の管理する里山林において間伐作業に取り組む。また、伐採したクヌギ・コナラ等は75cmに小切りして、炭焼き・椎茸栽培、さらに小切りして薪づくりに活用する。

事業総額：
234,957 円

補助金額：
234,213 円

実施内容

12月初めより春先まで、里山林の整備作業を実施。集落の管理する山に入り、クヌギ・コナラを伐採し、75cmに小切りして運び出す。

里山保全ボランティア養成講座修了生にも声をかけ伐採の技能を学べるようにする。

<期間>

2023年12月4日～2024年3月31日

<場所>

桜井市大字三谷とその周辺地域

<対象>

会員、活動の参加者

<スケジュール>

・2023年12月4日～16日

- ①スタッフ全員、現場確認、伐採樹木に印、つるきり
- ②林内作業車侵入路確保、整備、泥除去
- ③下草刈り、階段設置

・2024年1月～2月

- ①伐採作業
- ②小切り
- ③運び出し

・2024年3月

- ①～③ 後片付け、機械等メンテナンス

団体名：

特定非営利活動法人
山野草の里づくりの会

所在地：

桜井市大字三谷528

代表者：

理事長 村上 秀夫

設立の目的：

大和川本流源流地域における自然保護及びまちづくりに関する事業、及び日本原産の山野草の種の保全を目指して、環境保全及び環境を生かしたまちづくりに寄与することを目的とする。

事業の様子



実施効果

間伐によって林の中に光が入り、野草が育ちやすく、また、昆虫類や鳥類が森林に入りやすくなった。伐採した樹木は椎茸栽培や薪として活用している。

間伐作業は危険なため、集落では作業をする人がいなくなったが、経験・技能を引き継いでいけるように、今後も樹木の伐採に取り組んでいきたい。

寄附者からの声

弊庫寄付金を三谷集落一帯の間伐作業や下草刈り等の里山保全活動に活用頂き有難うございます。保全活動をされている皆様の経験・技能等を伝承し、今後も大和川源流に位置する三谷「山野草の里」の保全活動に期待しております。

樹木医による県立自然公園「矢田山遊びの森」への取組み方法と役割

樹木環境研究会議

実施目的

「県立矢田山自然公園」は、矢田山系の自然景観と文化財を保護するとともに、自然教育の場として都市部と隣接する位置にあたるため、近郊の住民にとって身近に自然とふれあえる貴重な公園である。公園内の枯損木、病虫害被害木の危険度と対処方法を選び出し、樹木医の専門的な知識や技術の向上を図る。また、「自然公園」樹木の保全対策事業の活動の一助となれるよう取り組む。

事業総額：
250,000 円補助金額：
250,000円

実施内容

県内で活躍する樹木医有資格者10名でグループを編成し、現地での危険木・病虫害被害木や生育環境などの調査を行い、変状要因や対処法を検討。樹木の健全性を高めるための資料をまとめ、公園管理者に報告した。

<期間>

2023年7月1日～2024年3月11日

<場所>

奈良県内（大和郡山市矢田町）

<対象>

奈良県内指定（県立矢田自然公園）

<スケジュール>

2023年7月 現地事前調査

現地調査用資料作成

11月 現地確認（計2日間）

12月 調査資料とりまとめ・報告書原案作成（計4日間）

2024年 1月 研修会

2月 報告書内容の現地確認検討

最終報告書作成（計2日間）

3月 報告書提出

団体名：

樹木環境研究会議

所在地：

奈良市平松

3丁目20-14

代表者：

理事 天野 孝之

設立の目的：

樹木医の知識と技術を通じて、県内の巨樹、名木等の文化財を初めとする樹木、緑地・森林等の保全、樹木文化の継承と発展及びこれらの普及啓発に関する活動等を地域社会と連携して行うことにより広く環境の保全に寄与することを目的とする。

事業の様子



実施効果

指定された樹木は、長い年月を経て存続が危ぶまれている状況にあるものも多い。具体的な衰退原因および健全度対策を示すことで、維持管理していくための方針を指定者や地域住民に理解いただく一助となった。身近な存在である「県立自然公園」に対する価値が再認識されることを期待したい。

寄附者からの声

弊社の寄付を地元住民の方にとって身近な「県立矢田山自然公園」保全活動にご活用頂き有難うございます。今後も美しい自然景観と自然とふれあえる公園を守っていただく活動に期待しております。

葛城連山の麓に位置する「葛城古道」の清掃・整備作業

かづらき煌ネットワーク

実施目的

葛城地区を愛する人々が集い、更なる歴史研鑽や風光明媚な景観を維持し、地域に足を運んでいただく機会を増やして頂くために地域の美化に寄与していくと共に、これからの地域を担う子供達の応援団となる。

事業総額：
213,580 円

補助金額：
200,000円

実施内容

葛城古道の美化（伏見菩提寺～高天彦神社、極楽寺～橋本院、かもきみの湯～高鴨神社）・草刈り、清掃、整備作業を実施

<期間>

2023年12月4日～2024年3月31日

<場所>

御所市葛城地区の「葛城古道」3ルート（伏見菩提寺～高天彦神社、極楽寺～橋本院、かもきみの湯～高鴨神社）

<対象>

県の内外を問わない会員

<スケジュール>

2024年3月10日 葛城古道3コースの清掃整備を実施

団体名：

かづらき煌ネットワーク

所在地：

奈良県御所市五百家93

代表者：

会長 菅原 正光

設立の目的：

「かづらき」は風光明媚な自然環境に恵まれ、歴史豊かな誇りうる郷土である。この「かづらき」を愛する人々が集い、さらなる歴史の研鑽・文化財の発掘と保存、地域の美化、各種イベント開催等の活動を通じて、会員相互の交流・親睦を深め、人生を楽しく、豊かにすると共に、地域の活性化に寄与することを目的とする。

事業の様子



実施効果

3月に実施した葛城古道3コースの清掃整備では、一般の方の参加もあり、県の内外から来られる人達に気持ちよく散策して頂ける葛城古道にすることができた。その後、地域活性化について意見交換を実施。埋もれた財産を復活させるためには、これからの地域の担い手である子供達に地域への愛着を深めて貰う必要性を議論した。今後も地域振興を底辺から支えていきたい。

寄附者からの声

弊社の寄附を葛城古道の美化・保全活動にご活用頂き有難うございます。今後も葛城古道の歴史景観や風光明媚な景観を守っていただく活動に期待しております。

多機能な役割がある都市公園樹木の健全性維持と有効活用

樹木環境研究会議

実施目的

都市公園は住民に避難地などの社会的効果を提供し、構成要素となる樹木は、人の心理・身体面を健やかにする効果がある。しかし、近年植栽後の生育環境、維持管理により樹勢の衰退が目立ち始め、枯死、病虫害の発生、倒木や落枝の危険がある。樹木の健全度を調べ、衰退樹木への保護施策を提案する。

実施内容

都市公園の多くの樹木は老齢化・大径木化が進行して、事故等の発生リスクが高まること懸念される。奈良市の近隣公園など（10カ所）を国土交通省「都市公園の樹木の点検・診断に関する指針（案）」を参考に、樹木の持つ機能や効用の増進と樹木の安全性の確保の方策を調査し、「報告書」として取りまとめた。

<期間>

2023年7月1日～2024年3月11日

<場所>

奈良県内（奈良市）

<対象>

住区基幹公園（近隣公園および地区公園）

<スケジュール>

2023年7月	文献・資料調査、調査方法等の打ち合わせ
8月～11月	現地調査（計6回）
11月～12月	調査資料取りまとめ・報告書原案作成（4日）
2024年1月～2月	報告書内容の現地確認検討（計4回）
2月～3月	最終報告書作成 報告書提出

事業の様子



実施効果

安全対策の一環として、樹木医の目線による樹木の点検・診断を行い、倒木や落枝による事故等の発生リスクの有無を調査した。「緑の文化財」の根幹的な施設である緑豊かな、うるおいのある公園を、各年齢層の利用者にとり安心した「ふれあいの場」「憩える場」となることを期待したい。

事業総額：
400,115円

補助金額：
400,000円

団体名：

樹木環境研究会議

所在地：

奈良市平松

3丁目20-14

代表者：

理事 天野 孝之

設立の目的：

樹木医の知識と技術を通じて、県内の巨樹、名木等の文化財を初めとする樹木、緑地・森林等の保全、樹木文化の継承と発展及びこれらの普及啓発に関する活動等を地域社会と連携して行うことにより広く環境の保全に寄与することを目的とする。

寄附者からの声

寄附テーマである「まちなみ保全事業」にご理解頂き専門知識を駆使され地道なお取組、ご苦労様です。

今後も「緑の文化財」を次世代に引き継ぐためにもご継続されます様、お願いします。

「葛城を知ろう」学習会

かづらき煌ネットワーク

実施目的

葛城地区を愛する人々が集い、更なる歴史研鑽や風光明媚な景観を再認識する事業で、地域活性化を図ることを目的とする。

実施内容

・御所市観光ボランティアガイドの会

講師：松浦 好秀会長

テーマ：はてな？高丘の宮・磐之媛(いわのひめ)

・役行者により開基、舒明天皇(じよめいてんのう)により創建されたと伝わる吉祥草寺

講師：吉祥草寺住職 山田哲寛氏

テーマ：葛城の修行

<期間>

2023年12月4日～2024年3月31日

<場所>

御所市五百家333 かもきみの湯多目的室

<対象>

県の内外を問わない会員及び御所市民(御所広報で周知)

<スケジュール>

2024年1月20日 かもきみの湯 多目的室で開催

2024年3月16日 かもきみの湯 多目的室で開催

事業総額：
403,125 円

補助金額：
400,000円

団体名：

かづらき煌ネットワーク

所在地：

奈良県御所市五百家93

代表者：

会長 菅原 正光

設立の目的：

「かづらき」は風光明媚な自然環境に恵まれ、歴史豊かな誇りうる郷土である。この「かづらき」を愛する人々が集い、さらなる歴史の研鑽・文化財の発掘と保存、地域の美化、各種イベント開催等の活動を通じて、会員相互の交流・親睦を深め、人生を楽しく、豊かにすると共に、地域の活性化に寄与することを目的とする。

事業の様子



実施効果

パネル展示は従来5月の総会時の「会員の集い」での展示のみでしたが、1月の新春から華やいだ雰囲気となり、講師の方の講演もこの雰囲気の中で醸し出された熱を帯びた講演となり、開演前や終演後もパネル展示に見入る方が多く見受けられた。5名の新規入会もあり、地域の埋もれた財産に対する意識に変化が表れ、葛城だけではなく参加者の方々の地域振興が進んでいく事に想いを馳せることができた。

寄附者からの声

「かづらき」を愛する人々が集い、当時の人々はこの場所でどんな思いで生活をしていたのだろうか、などと歴史に思いを馳せたことでしよう。

今後とも活動期待しています。

むすぶ・つたえる・まもる 国中（くんなか）の佐吉狛犬保全事業

紀伊半島交流会議伊勢街道分科会

実施目的

幕末の名工、丹波佐吉は近畿一円に多くの優れた石造物を残している。中でも、古代からヒトやモノが行き交った大和川流域には圧倒的な数の狛犬が現存している。それらを通して、地域での石造物の保全活動を支援し、緑の地で活動する人々をつないで、広く情報を発信することを目的とする。

事業総額：
402,497円補助金額：
400,000円

実施内容

- ・研究者と共に大和川流域に残る佐吉狛犬と管理者の調査を実施
- ・行政および管理者にアンケート調査を実施
- ・県整備のサイクリングロードを活用し、佐吉狛犬を巡るマップを制作
- ・斑鳩町で公開シンポジウム「全国石工佐吉サミット 2024」を開催

<期間>

2023 年 7 月 1 日～2024 年2月28日

<場所>

磯城郡および大和郡山市、生駒郡、北葛城郡の大和川流域

<対象>

県民一般市民、佐吉縁の地域で関心を持つ団体、個人

<スケジュール>

2023 年 10月6日 狛犬調査とサイクリングコース下見

12月8日 研究者との打ち合わせ会議

2024 年 1月12日 サイクリングマップとアンケート配布の協力依頼

1月25日 公開シンポジウム「全国石工佐吉サミット 2024」を開催

1月29日 サイクリングマップとアンケートの配布

2月10日 アンケート集計と課題の分析

2月20日 勉強会の記録および報告書の作成・発送

団体名：

紀伊半島交流会議
伊勢街道分科会

所在地：

宇陀市大宇陀
上新 1925

代表者：

代表 裏 宗久

設立の目的：

伊勢街道沿いの歴史や文化にふれ、そこに住む人々との交流を深めて、伊勢本街道と阿保越え伊勢街道（初瀬街道）を軸とした新たな交流を生み出すことを目的とする。

事業の様子



実施効果

・「国内の佐吉狛犬サイクリングマップは、奈良県が整備したサイクリング道を活用して大和川流域の佐吉狛犬を巡るという、新しい視点が高く評価された。

・公開シンポジウムには、地元の斑鳩町の方々を中心に52人が参加。佐吉ゆかりの近隣市町からの参加者もあり、関心の高さを実感することができた。

寄附者からの声

奈良の文化遺産」としての佐吉狛犬や石造物の保全活動に際し、サイクリング道との連携並びにシンポジウムの開催等、素晴らしい事業と存じます。

今後も奈良の魅力や美しさの情報を発信、お願いします。

山の辺の道「奈良道」来訪者誘致促進事業

山の辺の道「奈良道」を守る会

実施目的

我が国最古の道とされる山辺の道の環境整備をし、啓発活動を行うことで、来訪者の増加促進を図り、沿道の文化遺産に対する理解と愛着を深めていただくことを目的とする。

事業総額：
887,122円

補助金額：
400,000円

実施内容

1. 沿道の環境整備 草刈り、枝払い等
2. 教養啓発活動 講演会の開催、HP による周知
3. フォトコンテストの実施 広く一般から募集

<期間>

2023年7月1日～2024年3月11日

<場所>

山の辺の道沿道（奈良市区間）

写真展示は奈良市外も含め県下 4 会場

<対象>

一般参加者

<スケジュール>

2023年 7月 諸事業実施啓発（ちらし HP 市民だより）

7月～11月 沿道の草刈り及び枝払いを 2 回ずつ

11月 文化講演会の開催

2023年11月～2024年 3 月 フォトコンテスト事業

団体名：

山の辺の道
「奈良道」を守る会

所在地：

奈良県奈良市
藤原町584

代表者：

会長 村上 泰昭

設立の目的：

我が国最古の道といわれ、奈良市域に所在する山の辺の道を再生するとともに、諸事業を通じて、地域の活性化と観光振興に寄与・貢献することを目的とする。

事業の様子



実施効果

近年の国民の健康志向の高まりもあり、来訪者も年々増加傾向にあることは関係者の一員としても誠に喜ばしい。なかでもフォトコンテスト事業の実施の効果は大である。

“近者悦び 遠者来る 又楽しからずや”

寄附者からの声

「山の辺の道」沿道の環境整備と共に「講演会やフォトコンテスト」等、地道な活動が来訪者の増加に結びついた素晴らしい事業と存じます。「近者説遠者来」目指すべき地域の姿ですね。

旧芝居小屋「喜楽座」に眠る映画関連資料の保全事業

宇陀キラ倶楽部

実施目的

明治時代後期に建てられた旧芝居小屋「喜楽座」は、昭和初期に映画館に改装され、「喜楽館」として活動した時期がある。現在も映画館時代の資料が多数残されているが、総量・種別・価値づけ等の把握ができていないことから、専門家の指導を仰ぎながら価値を明らかにし、地域の人を巻き込んで価値の共有と資料の適切な保全、啓発活動につなげることを目的とする。

事業総額：
400,334円補助金額：
400,000円

実施内容

- ① 専門家と資料の確認、計量、分類、作業の進め方の意見交換を実施
 - ② 資料のデジタル化の実施
 - ③ 中間報告会の開催
- 喜楽座および宇陀松山の町並み見学、専門家による経過報告を実施

<期間>

2023年7月1日～2024年3月11日

<場所>

- ①喜楽座 ②まちなみギャラリー石景庵 ③喜楽座・ゲストハウス奈の音

<対象>

- ①専門家および宇陀キラ倶楽部の会員
- ②宇陀キラ倶楽部の会員
- ③映画資料や芝居小屋に興味のある者

<スケジュール>

- ① 2023年11月15日、16日 専門家を入れた現地調査
- ② 2024年1月20日 資料整理・作業（100件程度）
- ③ 2024年2月3日 中間報告会の実施

団体名：

宇陀キラ倶楽部

所在地：

宇陀市大字陀
下出口2266

代表者：

代表 田川 新一朗

設立の目的：

旧芝居小屋「喜楽座」の活用を通じて、地域の文化的向上、宇陀の魅力発信、質の高い交流の促進に努めることを目的とする。

事業の様子



実施効果

- ① 専門家2名と地元住民5名、飛び入り3名で作業を行った。重要度の高い資料から作業を進めた。約5年かかる見込をたてることができた。
- ② 地元住民4名ほどで資料の撮影とデータ入力作業を行った。フィルムを整理・格納したことで、閲覧と保管の両立が可能になった。
- ③ ZOOMで意見交換を実施し、喜楽座が映画館として閉館した日が判明したこと、喜楽座から喜楽館に変わった時期は不明であること等、喜楽座の調査においては専門領域を超えて協力するべきとの認識を確かめることができた。

寄附者からの声

現存する関西最古の芝居小屋「喜楽座」通じ、地域の文化と歴史を広く発信すると共に地域活性化への取り組み等、素晴らしい事業と存じます。今後もご継続されますこと期待しております。

宇陀松山重伝建地区における「山村留学」

UDA ミニバスケットボールスクール

実施目的

消滅の危機にある宇陀松山重伝建地区を守るために、子どもたちに様々な行事に参加してもらい、町の歴史や課題について学ぶ機会を提供する。

地元の人と協力してイベントに参加してもらうことで松山地区のファンを増やす。

事業総額：
400,882 円

補助金額：
400,000 円

実施内容

- ① 茶道教室
- ② 着付け教室
- ③ お作法教室
- ④ 紙芝居教室
- ⑤ 「宇陀松山初えびす」イベントの開催

<期間>

2023年12月4日～2024年3月31日

<場所>

宇陀松山戎神社 社務所の和室等

<対象>

小学生及び高校生

<スケジュール>

- ① 2023年12月10日～2024年1月27日（計7回）
- ② 2023年12月24日～2024年2月4日（計4回）
- ③ 2023年12月24日～2024年2月4日（計4回）
- ④ 2023年12月10日～2024年1月27日（計7回）
- ⑤ 2024年2月11日

団体名：

UDA ミニバスケット
ボールスクール

所在地：

宇陀市大字陀下本2175

代表者：

代表 菊岡 基益

設立の目的：

奈良県初のミニバスケットボールチームとして結成し、奈良県南部のバスケットボール人口の底辺の拡大を目的としてスタートした。現在は社会教育団体として、バスケットボールの基礎・基本のみならず、親への感謝・地域への奉仕活動・家庭学習定着運動など幅広い多様な活動を展開している。

事業の様子



実施効果

今回の事業は参加者だけでなく、付き添い保護者や指導者の先生、見守りの地域の方々からも好評であり、子どもたちの学びの姿勢が真剣そのもので、大人が感心させられた。

参加者の多くが自主練習に参加し、先生方もボランティアでご協力いただくなど、レベルの高いアクティブラーニングの場となり、地元の方々との絆も強まった。

寄附者からの声

子ども達にとって自分達の住む街の歴史や課題を、体験を通じて学ぶ事が出来た素晴らしい事業であったと思います。今後も子ども達の将来の為ご継続されます様、お願いします。

平城京北部地域の里山景観（特に竹林）の整備・保全活動

特定非営利活動法人 共生学舎

実施目的

里山の環境は放置されると著しく荒廃し、倒竹・ゴミの投棄等で地域利用者の安全も損なわれる。この為、道路等の整備・保全活動（清掃・除草）は欠かせない。

地域の活性化、環境保全や安全確保、観光拠点の整備をすることを目的とする。

事業総額：
353,978 円

補助金額：
303,560 円

実施内容

- ① 年間を通じた竹林の整備計画立案とその実行（計4回）
- ② 地域や沿道の清掃・草刈・伐採活動（2回/月、計13回）
- ③ 竹の間伐材を活用した、「竹細工教室」の開催

<期間>

2023年7月1日～2024年3月11日

<場所>

奈良佐紀町（共生学舎の活動場所）

<対象>

当会員・近隣の地域住民

<スケジュール>

- ① 2023年 7月22日 資材等の検討、作業スケジュールの立案
8月20日～1月28日 粉砕機に依る、間伐材のチップ化（計4回）
10月8日～2月18日 元肥の散布（計3回）
12月17日 竹林の法面の整備と杭打ち
- ② 2023年7月23日～3月3日 地域や沿道の清掃・草刈・側溝清掃等の活動
- 2023年9月3日 強風による倒木の除去作業（臨時作業）
2023年9月18日 間伐材を活用した竹細工教室の開催
「竹の水鉄砲」の作成
2月10日 「竹ポックリ」の作成

団体名：

特定非営利活動法人
共生学舎

所在地：

奈良市佐紀町 1360

代表者：

理事長 大東 照正

設立の目的：

中高年齢者に対して、真に充実した日暮しと安らぎの精神、扶助しあい支えあう心を中心の理念として、県民の生活福祉の向上と、衣食住に関わる改善、保全の事業、また支援奉仕活動を推進して、それらの専門の分野と有識者の人々の協力を得て住民と社会に貢献して寄与することを目的とする。

事業の様子



実施効果

- ① 竹林整備の作業手順・作業項目が確立でき、今後の整備活動の基盤ができた。間伐した竹は枝払いせず粉砕ができ、著しく作業効率は向上した。また、チップは肥料として散布でき、土壌改善効果も期待できる。
- ② 竹林整備を通じて、地域の環境改善（法面の整備、側溝清掃等）に貢献できた。また、地域住民からの感謝の言葉も戴いた。
- ③ 竹細工教室開催を通じて、地域の子供達との交流を深めることができた。

寄附者からの声

里山の環境保全に向けての様々な取り組みに「古都なら WAON」寄附金を活用頂き有難う御座います。

里山は手入れを怠れば直ぐ荒廃します。今後とも継続されます様、お願いします。

うみの森おやこひろば開催事業

特定非営利活動法人 共生学舎

実施目的

未来を担う子どもたちに、緑あふれる森の中で自由にのび伸びと成長し、自ら考える力を持つおとなになってもらう。

平城京玄武(北)の古墳や自然の森が多い佐紀町・歌姫町の中で子どもとおとなが一緒に成長していく場(おやこひろば)を提供する。

実施内容

自然と接する機会が少ない親子を集めて月1回(基本土曜日)おやこひろばを開催する。

農業体験、自然体験(メダカ、昆虫採取)を親子で体験してもらう。

<期間>

2023年7月1日～2024年3月11日

<場所>

奈良市佐紀町1360 共生学舎農園周辺地域

<対象>

周辺地域、近隣の子どものおとな

<スケジュール>

2023年 7月 2日 実行プロジェクト会議

7月 8日 第一回おやこひろば

8月10日 第二回おやこひろば

9月 9日 第三回おやこひろば

10月14日 第四回おやこひろば

11月18日 第五回おやこひろば

12月 9日 第六回おやこひろば

2024年1月18日 第七回おやこひろば

2月 24日 第八回おやこひろば

事業総額：
140,397 円

補助金額：
100,000 円

団体名：

特定非営利活動法人
共生学舎

所在地：

奈良市佐紀町1360

代表者：

理事長 大東 照正

設立の目的：

中高年齢者に対して、真に充実した日暮しと安らぎの精神、扶助しあい支えあう心を中心の理念として、県民の生活福祉の向上と、衣食住に関わる改善、保全の事業、また支援奉仕活動を推進して、それらの専門の分野と有識者の人々の協力を得て住民と社会に貢献して寄与することを目的とする。

事業の様子



実施効果

毎回10組以上の親子が参加し、延べ8回で100名以上の親子が参加。

子どもたちが自然あふれる里山で生き生きと元気に活動した。

第七回の食育講演会では大人23名が講師の話に耳を傾け、

毎月行われるおやこひろばを楽しみに待っているこどももいた。

4月以降も実施してほしいとの要望もあり、今後検討する。

ひとこと

子ども達の自然に接する機会が減少する中、農業体験や生物の採取は、自然と触れ合うことのできる大変意義のある事業であったかと存じます。今後も地域での活動を進められることを期待します。

開店時はいつでも子ども食堂、無料学習支援、居場所事業

特定非営利活動法人 Genki Future Dreams47

実施目的

貧困や一人親家庭など様々な理由で満足に食事が取れない、孤食する子供たちの居場所として、開店時間内はいつでもこども食堂の駆け込める場所として活動。世代間交流もできる地域食堂として、駄菓子屋の延長のような気軽に集まれる場所を目指している。カレー店の開店時は、中学3年生までの子どもは1食100円で食事ができ、「みらいチケット」を使用すれば無料で提供することを目的とする。

事業総額：
159,353円補助金額：
100,000円

実施内容

地域食堂として1食誰でも200円でカレーを提供し、中学3年生までは100円で提供。「みらいチケット」を使用すれば無料で食事が取れて、地域のボランティアや大学生たちによる無料学習支援を行う。また、冬季夏季休み期間中やクリスマスなどには、英会話講師による無料英語体験やイベントを行い、その後は一緒に夕食としての子ども食堂として食事を提供する。

<期間>

2023年7月1日～2024年3月11日

<場所>

奈良県橿原市四条町776-1 げんきカレー橿原店内

奈良県北葛城郡上牧町服部台1125 パエム2F げんきカレー上牧店内

<対象>

中学3年生までの児童、保護者

<スケジュール>

2023年7月～8月（夏休み期間中）

2023年10月末（ハロウィンパーティー）

団体名：

特定非営利活動法人
Genki Future
Dreams47

所在地：

奈良県北葛城郡上牧町
服部台1丁目1-25
パエム 2F

代表者：

理事長 齊藤 樹

設立の目的：

広く一般市民に教育、生涯学習、資格取得などの相談、支援事業、交流の促進、地域の活性化などを目的としたイベント、交流会等の企画及び開催。社会教育の推進、子どもの健全育成及び地域福祉の向上を図り、公益に寄与することを目的とする。

事業の様子



実施効果

英会話講師による無料英語体験を行った際に、英語に苦手意識を持っていた児童が、「英語は楽しい」と感じてもらう機会の提供ができ、学校での英語活動や授業に対して積極的になったとの感想を多数もらうことができた。

ひとこと

英語教育が進む中、子ども達が活動を通じて、苦手意識を克服することができ、良いきっかけづくりになったかと存じます。今後も国際交流の促進活動を継続してください。

春日山、滝坂の道、能登川の高畑流域、里山や竹林における、自然環境と景観の保全活動を通じて、地域の子どもたちを健全に育成する事業

高畑自然教室

実施目的

高畑町はかつて万葉集にも“能登川の水底さへに照るまでに御笠の山はさきにけるかも”と詠われた日本の原風景が今も多く残されている。樹木や小さな生き物が豊かに生息する貴重な自然環境を、子どもや若者たちと共に保全活動に取り組み未来に引き継ぎたいと考える。また活動を通して子どもたちが健全に育成されることを目的とする。

実施内容

1. 能登川のホタル環境保全
2. 里山杉林竹林で景観形成
3. 春日山の生き物観察
4. 親子活動
5. さとやまっこ工房木工体験
6. 地域協力事業などの活動を主に親子で行いました。

<期間>

2023年7月1日～2024年3月11日

<場所>

春日山、滝坂の道、能登川流域、白毫寺県有杉林（里山）、法蓮町県有竹林

<対象>

高畑町、能登川流域、高畑自然教室の皆様

<スケジュール>

- 2023年 7月 9日 さとやまっこ工房工具体験、作品製作準備
9月29日 能登川紀寺北協働清掃準備草刈り、水質検査
10月10日 樹木の安全な伐倒のためのチェーンソー使い方復習
2024年 1月31日 里山整備、シイタケ収穫

事業総額：
375,945 円

補助金額：
100,000 円

団体名：

高畑自然教室

所在地：

奈良市高畑町 1340-1

代表者：

校長 藤川 綾子

設立の目的：

日本の原風景が多く残されている貴重な高畑の自然環境を、樹木や植物、昆虫や小鳥等、生き物が豊かに生息する環境として、未来に引き継いでいくことを目的とする。

事業の様子



実施効果

里山の間伐材を利用したクリスマスツリー作り等は、親子が力を合わせて作業をし、子供達も物作りの難しさと達成感、自然の恵みや自然と共に生きることの醍醐味を味わうことができた。

ホタル観測などもできるほど自然豊かな環境を守りたいという思いは、能登川清掃などできることから積み重ねて実現につなげていきたい。また「野鳥写真を楽しむ会」では高畑町周辺などに生息する野鳥について知ることができた。

ひとこと

里山の環境保全に向けて、親子が楽しみながら様々な活動ができた事業であったかと存じます。今後も自然環境と景観の保全を目的に、子ども達が積極的に参加する取組が継続されますことを期待します。

「全ての子に野外活動の楽しさと豊かな発達を＜キャンプ研修 2 回＞」

中原の里

実施目的

発達に不安や遅れがある発達障害児やワンオペ育児、シングルマザーである人たちは子育て環境が過酷であり、親子のストレスは「虐待」へと移行する可能性が非常に高い。その孤立した子育て環境を改善するために、野外活動に慣れ親しんでいない子どもたちに野外活動の楽しさを知るきっかけを提供する。

事業総額：
116,678 円

補助金額：
96,350 円

実施内容

奈良県五條市大塔町中原の自然環境や資産を有効利用し、普段野外活動に参加したくてもできない子どもたちや家族がキャンプについて学ぶ一日研修の開催。

＜期間＞

2023年6月1日～2023年12月31日

＜場所＞

奈良県五條市大塔町中原地区

＜対象＞

マイノリティである野外活動に慣れ親しんでいない子どもとその家族

＜スケジュール＞

2023年

6月～9月 打ち合わせ、広報活動、参加者受付作業など

10月8日、10月31日 キャンプ研修二回開催

11月18日 振り返りミーティング／清算等

12月 報告書作成、整理

団体名：中原の里

所在地：

奈良県五條市大塔町

中原311

（中原集会所内）

代表者：

会長 山本 まゆみ

設立の目的：

会員相互の扶助、並びに協力により五條市大塔町及び中原集落、その周辺集落の持続可能な地域づくりに努めることを目的とする。

事業の様子



実施効果

参加者が主体的にキャンプ活動に参加し、初めて会う人たちが互いに協力し合い安全に楽しく過ごすことができた。また、最新のキャンプギアを体験することもできた。野外活動に興味がある家族が一定数存在し、特に、子どもに何らかの課題がある家族は野外活動に参加する際に他の人に気を遣う。今後もマイノリティである子やその家族が自由に参加できる野外活動を企画開催していきたいと思う。

ひとこと

ひとり親や子どもの発達に不安のある家庭に対して、親に安心できる場を与えとともに、キャンプを通じて非日常的な体験を提供できた事業であったかと存じます。今後も子育てに不安のある家庭が自然とふれあうことのできる活動に取り組まれることを期待します。

子ども食堂（おひさま食堂）を軸にした子どもの居場所づくり

特定非営利活動法人 おひさまひろば

実施目的

誰もが気軽に集まることができる居場所づくりを目的とする。また、子どもたちを取り巻く教育問題への取り組みと地域の親子支援、地域交流、また学生ボランティアの経験や知識を深める場になることを目的としている。

事業総額：
114,084 円補助金額：
66,883 円

実施内容

当法人が開所予定の新事業所で、子ども食堂の開催や子どもの居場所づくりを取り組んでいく。また学生ボランティアと子どもたちが関わりをもち、学習支援や交流を深める。

<期間>

2023年9月1日～2024年3月11日

<場所>

桜井市下居（当法人新事業所）

<対象>

地域の方々、就学児・未就学児及びその保護者様等

<スケジュール>

2023年12月 子どもの居場所づくり（おひさま食堂）
スタッフ・学生ボランティア随時募集2024年1月 当法人多機能型新事業所開所
2月10日 第一回 おひさま食堂の開催
（毎月第2土曜 12:00～19:00）
スタッフ:3人 学生ボランティア:5人3月9日 第二回 おひさま食堂の開催
スタッフ:3人 学生ボランティア:5人

団体名：

特定非営利活動法人
おひさまひろば

所在地：

奈良県桜井市
河西 239-6

代表者：

理事長 太地 久恵

設立の目的：

子育て支援・障がい児支援事業、安心して子育てができる環境づくり、親子の良質な関係を築ける家庭づくり、子どもが安心して遊べ、学べる地域社会づくり、世代間交流活動で地域の人々の世代を超えたネットワークづくりを推進し、地域社会・地域福祉に寄与することを目的とする。

事業の様子



実施効果

おひさま食堂は2回とも大変有意義なイベントであった。親子連れや障がいのある方々など、幅広い世代の交流の場となった。

内容としては一緒に食事をするほか、ミニコンサートでの歌や楽器体験、畑で野菜の収穫体験をした。

また、当法人の新事業所を広く知っていただくことで、普段関われない人々と交流することは、ボランティアにとってもいい経験になり、様々な人にとっての居場所になれると感じた。今後も、誰もが楽しく安心して過ごせる居場所づくりとして、当事業を続けていきたい。

ひとこと

食を通じて世代間の交流が深まる大変意義のある事業であったかと存じます。今後も地域の子どもたちに対する安らぎの場の提供者として活動に取り組まれることを期待します。

少年の更生支援啓発事業（①広報事業、並びに②研修事業）

奈良家庭・少年友の会

実施目的

- ① 当会が取り組む具体的な活動内容を広く知らしめることを目的とする。
- ② 少年犯罪は時代とともに変化し、現状に合った活動をするためには会員や学生ボランティアの不断の研鑽が求められ、専門性の高い研修を継続的に実施することを目的とする。

事業総額：
141,800 円補助金額：
100,000 円

実施内容

- ① 広報紙 第32号の発行
- ② 会員や学生ボランティア等の知識とスキルの向上を目的として、「更生保護制度について」の講演の開催

<期間>

2023 年 11 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

<場所>

- ① 奈良家庭裁判所3階（奈良市登大路町 35）
- ② 奈良公園バスターミナル東棟レクチャーホール（奈良市登大路町 76）

<対象>

- ① 奈良地方・家庭裁判所各職員、全国の家庭・少年友の会、奈良弁護士会、奈良地区協力雇用主会会長、法務省奈良保護観察所所長、会員、県内大学生、一般の方々
- ② 当会会員、学生ボランティア、奈良弁護士会の弁護士、奈良地区協力雇用主会会員、奈良保護観察所の協力組織会員、保護司、一般の方々

<スケジュール>

- ① 2023 年 11 月 24 日 広報紙 第32号の発行
- ② 2024 年 3 月 19 日 「更生保護制度について」の講演の開催（午後2時～4時）
講師：奈良保護観察所大日向秀文所長

団体名：

奈良家庭・少年友の会

所在地：

奈良市登大路町 35
奈良家庭裁判所内

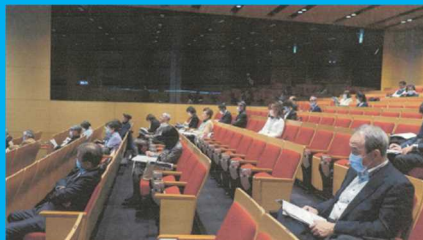
代表者：

会長 以呂免 義雄

設立の目的：

奈良家庭裁判所の行う家庭の平和の維持、少年の健全育成等の業務に寄与し、協力することを目的とする。

事業の様子



実施効果

- ① 毎年発行する広報誌は、当会の諸活動が広く認知されるとともに会員募集や寄付の公募にも貢献している。こうした取り組みが県民へのアピールとなり、保護者や少年に対する非行抑止につながった。
- ② 参加者数は当会会員 29 名、学生ボランティア 1 名、協力組織 4 名の総勢 34 名となった。
新人の諸活動への積極的な参加を促すだけでなく、補導委託先の新規開拓や特別賛助会員等の増加にもつながった。

ひとこと

地道な取組が必要となる少年の更生支援について広く周知し、新規会員等の開拓を行うとともに、会員等の知識とスキル向上につながる事業であったかと存じます。今後も活動が広く認知されることを期待します。

他学年と楽しむバドミントン教室・大会

一般社団法人 リトルパイン総合型地域スポーツクラブ

実施目的

室内で手軽にできるバドミントンを利用し、地域の子供たちが交流を深めることが目的である。比較的ラリーが早くできるので、「出来た!!」自己達成感を得てほしい。地元の中学校にも協力をいただき、異年齢での交流も行いたい。

事業総額:
107,403 円

補助金額:
97,403 円

実施内容

市内在住の小・中学生を対象としたバドミントン教室及びバドミントン大会を実施することにより、地域の子ども達の心身の健全な育成と交流の促進に資する。

<期間>

2023年12月4日～2024年2月13日

<場所>

生駒市立生駒小学校

<対象>

生駒市内に住む小・中学生

<スケジュール>

2023年12月7日 第一回運営会議 事務所

2024年1月14日 参加者募集 事務所

1月26日 第二回運営会議 事務所年

1月28日 実施日 生駒小学校体育館(計46名)

1月29日 反省会 事務所

団体名:

一般社団法人
リトルパイン総合型地域
スポーツクラブ

所在地:

奈良県生駒市
緑ヶ丘 1454-34

代表者:

代表理事 松岡 岳史

設立の目的:

すべての人に、人々の健康を維持する活動や地域の人々の繋がりに貢献する事業を行い、人々の健康や生活の向上、子どもたちの運動面・精神面の成長に寄与することを目的とする。

事業の様子



実施効果

普段合わない別の地域の子どもたちが集まって、一緒に練習し、最後はゲーム形式で楽しんだ。年上の子が、年下の子たちをフォローしたり、また、年下の子たちが奮闘すると、自分のことの様に喜ぶ様が見られた。ゲームや Youtube など、個別で楽しめるツールから離れ、他者との交わりを楽しむ良い機会を得られた。

ひとこと

子どもたちが学年を問わずスポーツの楽しさを感じ、交流を深めることができた事業であったかと存じます。今後も子ども達が持っている、運動能力や判断力、表現力が育成される事業が展開されていくことを期待しています。